



去る五月二十四日(日)、
バス三台に分乗して、伊
東海岸へ地曳網に行きま



した。合憎のお天気でし
たが、とても楽しいリク
リエーションでした。

楽しかった地曳網

3 B 尾沢孝宣

西新宿七丁目町会

青年部ニュース

No. 21

56 年 伊東海岸地曳網収支決算書

5月24日

御寄附者名

収 入 金		支 払 金	
会 費	375,500	バス料金 3台	210,000
		チップ	15,000
		高速道路料金	35,500
		地曳網	70,000
		昼 食	144,000
寄附金	47,000	魚料理代	2,000
		缶ビール	10,550
		缶ジュース	6,300
		バス内の景品	6,000
		つまみ・お菓子	22,000
部より	107,630	コップ・その他	8,780
	530,130		530,130

田 辺 部 長 様
高 須 保 様
春 日 様
斉 藤 満 様
石 田 寿 幸 様
喜 代 美 様
浅 井 憲 龍 様
小 見 山 猛 様
石 川 慶 太 郎 様
荒 井 保 次 様
加 賀 谷 様
山 形 相 互 銀 行 様
喜 多 作 様
河 野 洋 寿 様

じびきあみ作文集

一年 たきよしひと

ぼくはすなはまにいて、なみがきて、かごみやふみえちゃんと、ひろやすくんと、きがあつてきてあそびました。じびきあみをひっぱって、たこがつれたり、いかがつれたり、いろんなさかながつれたり、かにがつれました。



三年 伊藤美登里

わたしは、七丁目の町会で、じびきあみにバスで行きました。

バスの中で、わたしと新井弦絵ちゃんと、はとぼつぽを歌いました。そしたら、うちのおとうさんが、「もう一曲歌いなさい」といったから「チューリップ」を歌いました。そしたら、なわとびをくれました。

ついでからお食事を食べるころへ行つて、にもつをおいて、くつしたをぬいで、いとえちゃんとはまべにいきました。そしたら、雨がぼつんぼつんとふってきました。向こうの方であみをひっぱっているから見にいきました。

そしたらぜんぜんさながとれていませんでした。こんどは他の場所で行きました。だけどぜんぜん

とれませんでした。そして終ったと思つておへやにはいったら、おかあさんが「下で何かやってるよ」とつていったから行きしました。そしたら「すなの中にカードみたいなのが入っているから、それ

三年 鈴木美栄

前の日は、うれしくてなかなかねむれませんでした。

朝、お母さんに起こされて、目がさめたらお天気がよかったのととてもうれしかったです。

バスの中では、歌をうたったり、ゲームをしたたりして遊んでいると、伊東へつきました。

を見つけたなさい」とたれかがいいました。わたしはなかなか見つかりませんでした。そしたらどっかのおじさんが見つめてくれました。そしておかしをもらいました。ごはんを食べて少しあそんでから帰りました。

そして途中でおとうさんがおみやげを買ってくれました。

おわり

じびきあみをすぐやるというので、すぐ外へ行きました。始まった時からいっしょうけんめいに引っぱりました。一回めも二回めもがんばって引っぱりました。でもあみをみたら、がっかりしました。魚が少ししか入ってないで、カニとかタコが入っていたので、また

びっくりしました。

ごはんを食べてからは、雨が降ったりしたので、あまりあそべなかったで、そこがちょっとつまらなかった。

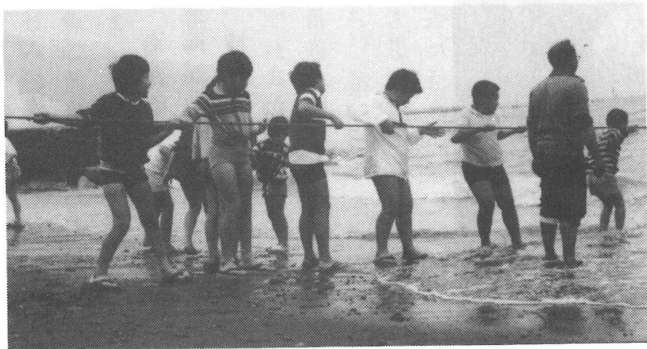
それから魚つりをやり

ましたが、雨がやんだりふったりしたから、一びきもつれませんでした。もつていったアイスボックスに、ジュースを入れてかえってきました。

三年 矢沢幸夫

朝早くバスにのつてじびきあみにいきました。かいがんであそびました。そして、かいがんでじびきあみをしました。はじめて引っぱったのでとてもつかれました。いっばい魚とかカニがとれました。

お昼ごはんを食べて、またかいがんにいって、なみと遊びました。雨がふってさんねんでした。もう一度、はれた日にいきたいと思います。



四年 滝 良治

ぼくは、五月二十四日に田辺君たちと伊東に行きました。

最初は、ぼくが田辺君の家にいって、田辺君たちといっしょにバスに乗りました。

伊東につくまでは、三時間くらいでつきました。伊東につきました。

それでりょかんに入つて、ゴムぞうりにはきかえて、すなはまに行つて、海の中に入つて、すぐく風があるからすぐく波がきてぬれてしまいました。もうぬれたから、もつと波がくる所へ行くと、おとうさんが、

「じびきあみをやるからあっちへ行け。」

といったら、あみをおろして引っぱっていました。

だからぼくも行つてやつたら、ひらめ、キス、コチ、イイダコとか小さな魚がいっぱいあみに引っかかりました。

おとうさんが、「たからさがしをやるからあっちへ行け。」といいました。

おじさんが、「ようい、スタート」と言つて、みんないっせいはじめました。

田辺君たちはみつかりませんでした。ぼくたちはおそくとれて、弟は、あとからとって、賞品は、ぼくはおかしで、弟がビ―チボールとおかしでした。

自由時間だから、ぼくはぼくはていに行つて、つりをしました。一匹もつれませんでした。それで帰りました。

楽しかったバス旅行
 五年 谷野佐和子
 五月二十四日午前六時半、バスは伊東海岸へ向けて出発しました。
 仲良しの会田さんと同じバスでなかったのは残念だったけど、妹の友達の宮島ゆりちゃんやこみやふみえちゃんもいっしょだったのでもんなにさびしくありませんでした。それにバスの中では歌を歌ってボールや花火をもらったりで楽しかったからです。
 そうして、約三時間乗り、目的地に着きました。休けい所に荷物を置いてから、砂浜で地びき網を二回引きました。一生けん命引いたけど、小さいのばかりで大きいのは少ししかとれませんでしたし

た。小さいのがかわいそうだったので（もう、網なんかにかかるといふやないよ。）という気持ちでこめて五、六匹海にかえしてあげました。
 地引き網が終わってから子供たちは「宝さがし」をしました。
 「ヨイ、ドン」という係の人の声でいっせいにほり始めました。なかなか見つからないので、（わあ、見つからないかったら、どうしよう。）と思いつつながらさがしてたら、赤いプラスチックの番号ふだが見つかったのではっとしました。
 私は十四番で妹は三九番でした。
 それから、ごはんを食べました。地引き網でとった魚の数が少ないのでおさしみは一人一切れでした。



七丁目の人たちと、バスに乗って行った時、なんとなくつまらなかった。だって、うまくない歌を歌ったり、カラオケはうるさいし、まったく楽しくなかった。それに、雨も降っていたし、もったカラッと晴れた日であつたらよかった。日にやけ

じびきあみ

六年 伊藤明美

でもおいしかったです。もつと食べたいくらいでした。
 ごはんを食べ終わってから三人で、夕べ買って帰ったさおを持って釣りに行きました。でも一びきも釣れませんでした。しばらくやっていたら雨が降ってきたのであわてて休けい所にもどりま

した。雨はどんどん降ってきて外で遊べなくなつたので賞品のおかしを食べたりしていました。
 バスで帰る途中、魚が釣れなかったのでものををおみやげに買って帰りました。
 雨が降ったのは残念だったけど、楽しい一日でした。

海といっしょに遊べただろう
 5年 会田葉子
 今にも
 なきだしそうな空
 あばれだしそうな海
 五月二十四日
 日曜日
 初めて網を引いた私
 網にかかった魚
 少しでもうれしい
 生きているから
 あまりにも美しい海だから、
 空がにいじわるして
 雨の小人を
 おとしたの
 空っていいわ
 せっかく新宿から
 きた私たちが
 いじめて
 雨が降らなきゃ
 楽しかっただろう



海が雨をよんでいる
 海が波をよんでいる
 波が私をよんでいる
 またこんど
 晴れたときでね
 っ

五月二十四日バスで青年部の人たちと伊東へ行きました。往きのバスの中でカラオケ大会がありました。ぼくは、「ブギ浮ぎ I LOVE YOU」、「ルビの指輪」、「ヨコハマチーク」、「悲しくて」の四曲を歌って賞品をもらいました。途中交通事故で少し渋滞しましたが、予定より早く着きました。部屋に上がってちょっと休んでから地引き網をしに海岸に行きました。引き始めの時は、魚がぜんぜん入っていませんでしたが、引き終りの方は、少し魚が入っていました。二回目は、一回目よりたくさん魚が入っていました。ぼくは、イワシや

さばの子を取りました。弟はカニとヒトデを取りました。ていぼうの上でさばの子を釣っている人がいっぱいいたので、ぼくもさおを借りて釣りに行きました。行ったらすぐ雨がザーザー降ってきたのでどきました。
 帰りのバスでトイレに行きたくて臨時停車してもらいました。雨が降らなければもつと遊べたのに雨が降って残念でした。



青年部事業の一環として、第八回目を無事終了し、青年部員始め、町会の皆様、厳冬の期間三ヶ月、ご協力ありがとうございました。

打上げ慰労会と班別協力者名

9 B 会田友太郎

◎寄附者御芳名（順不同）

[illegible]

新 宿 区 新 聞 様
西 山 婦 人 部 長 様
婦 人 友 の 会 様
資 源 回 収 様
秋 山 幸 輝 様
芳 賀 (サ ン 理 容) 様
大 波 様
マ ミ 様
ロ ア ー ル 様
喜 代 美 様
会 田 友 太 郎 様
清 水 貞 明 様
伊 藤 哲 夫 様
に さん が ろ く 様
田 辺 光 夫 様
以 上

な お、慰 労 会 は 三 月 八
日 (日)、レ デ ィ ー フ ァ ス ト
に て、町 会 始 め バ ト ロ ー
ル 員、総 計 八 〇 名 の 出 席
に より 盛 大 に 開 催 す。

〔 第 一 班 〕



第8回 防火、防犯



パトロール

(S55. 12. 1 ~ S56. 2. 28)

班別パトロール
スナップ集

午後11時30分頃撮影（上野）

〔第三班〕



〔 第 二 班 〕



るくらいにあつさに。せつかく行つたのに、網には、十匹ぐらいの魚や、カニやタコなどしかいなかった。ごはんも、まぐろやみそしるしか食べられなかつたし、とつた魚はきらいで食べられなかつた。でも、楽しい事もいくつかあつた。宝物がしをしたりして、私は十三番だつた。おかしももらえたし。それに小林まさこちゃんや、かなえちゃんや武藤あや子ちゃんやいろいろな人たちと遊びました。特に、まさ子ちゃんと妹とまさ子ちゃんの弟といっしょに、海に出て、きれいな貝をひろつたりしました。その貝を家にもつてきてならべたりしてながめていました。それに自分が集めている小さいこけし人形な



でも帰りに買ってきまして。
いくつか楽しい事もあり、
つまらない事もありまし
た。もし、自分がいかな
かったら、お金がもった
いなかっただです。やっぱ
り行ってよかったです。
こんどは、夏にどこかの
プールに七丁目のみんな
と行きたいです。

日帰り旅行

六年 林孝嘉

青年部の日帰り旅行で、伊東へ地引き網を引きに行きました。

地引き網を引き終つて
ご飯を食べてから、近く
の防波堤にお父さんたち
と釣りをしに行きました。
一回目、投げたのを引
いてきて上げてみると、
カニが一ぴき掛かつてい
ました。その後は何も釣
れないうちに二、三〇分た
つてしまいました。また
投げたのを引いてくると、
すぐ足元で少し重くなつ
たので、何かなと思つて
上げてみると、シロギス
が一ぴきかかつていて、
道糸の先を持つとすぐ針
から外れてしまったので、
かろうじて掛かったんだ
なと思ひました。

その後、もつと釣つてやるぞと思つてやつていたのですが、そのうちに波がますます高くなり、とうとう雨が降ってきてしまつたので、しかたなしに止めることにしました。

「ああ、おしいな。せっかく釣り始めて一びき掛かってこれからだと思つたのになあ。」と思ひました。

「エサがまだこんなに残っている。青イソメは、ぼくがお金を出したのに」と、みんなの前で文句を言いましたが、文句を言つてどうなるという訳でもありません。しかたなしに船宿へ帰りました。

家に帰つて、釣つたシロギスをからあげにして、ぼくが食べました。

〔 第 十 一 班 〕



〔 第 十 班 〕



〔 第 十 三 班 〕



〔 第 十 二 班 〕



〔 第 十 五 班 〕

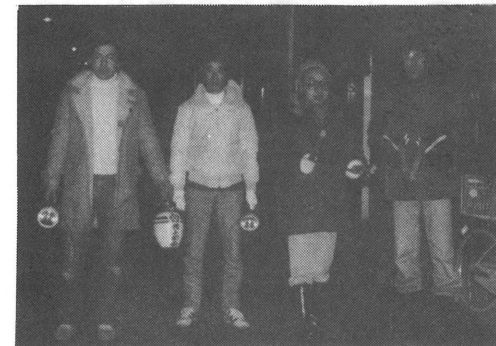


〔 第 十 四 班 〕



- (15) 班 若山直義、佐藤豊、
 会田友太郎、前山勝彦、
 小林孝一、岡 誠治、
 渡辺勝栄
 以上ご協力者八十六名
- (14) 班 本間正民、関根利博、
 上野勝夫、井西正一、
 加賀谷哲男、新井 正
- (13) 班 鈴木公雄、大塚敏男、
 浜田英世、中野正徳、
 黄野朝達、市川亘孝
- (12) 班 大里哲也、石鍋秀樹、
 林 英夫、斉藤良一
- (11) 班 籠宮武男、米橋憲一、
 齐藤 満、近藤隆一、
 田中達也、西山昭雄
- (10) 班 赤塚盟治、深野一彦、
 酒井一勇、春日一郎、
 細井 勲、沢之井広
- (9) 班 武藤栄男、林正誠、
 谷野力夫、石川浩安、
 駒井善一、宮島右近

〔 第 五 班 〕



〔 第 四 班 〕



〔 第 七 班 〕



〔 第 六 班 〕



〔 第 九 班 〕



〔 第 八 班 〕



- (8) 班 小嶋 茂、笹生栄一、
 佐藤成幸、久保田美代治
- (7) 班 川村 勝、渡辺昭治、
 伊藤哲夫、最上寿夫、
 矢沢 博
- (6) 班 清水 孝、齐藤博一、
 桜井聖明、清水貞明、
 将田星一
- (5) 班 田辺光夫、前波 保、
 鈴木利道、千葉清志
- (4) 班 岡 信喜、半田 弘、
 中村隆一、河野洋寿、
 鈴木昭吉、滝 良貞
- (3) 班 岩本 久、金丸泰明、
 石川佳男、青木秀伸、
 桜井良平、荒井保次、
 大沢信行、鈴木康夫
- (2) 班 佐藤昌之、小林正典、
 浅井憲龍、小林佳直、
 中村保信
- (1) 班 パトロール員 紹介

◎新入部員紹介

2 B	伊藤 弘明 君
5 B	やきとり鳥新 君
5 B	畑 春松 君
5 B	西口水産 君
5 B	猪飼 隆 君
8 B	日産化学 K・K 君
8 B	加賀谷哲男 君
8 B	加賀谷電気商会 君
8 B	新井 正 君
8 B	割烹よしえ 君
9 B	次女 さつきちゃん
9 B	前山 勝彦 君
9 B	佐藤 豊 君
9 B	長男 基治ちゃん

◎お誕生おめでとう

・ボーリング同好会
 納会のご案内!!
 ○七月十九日(日) 開催
 ○後楽園新宿ボウル於
 ○午前十時スタート
 会費等の詳細は、後日お
 知らせいたします。今回
 は納会ですので、特別大
 会として盛大に行ないた
 く存じます。新役員で再
 びスタートする迄、
 乞う!! ご期待

・納涼懇親会のご案内!!
 ○七月二十五日(出)
 ○会場 追って案内す。
 ○会費
 真夏のひととき、生ビー
 ルで乾杯……。どうぞ
 たくさんの方々が、ご参
 加下さる様にお願ひ申し
 上げます。

◎スピーカー◎

・第三回 緑日 開催
 ○八月二十三日(日)
 ○柏木公園 於
 ○だし物等は、例年の
 通りかどうか……。部員
 の皆様の御協力をお願い
 申し上げます。

・旅行同好会のご案内
 ○九月十二日・十三日
 (出)(日) 一泊旅行
 ○箱根 天成園
 思いっきり飲んで、芸者
 と遊べて? こんな旅行
 如何が……。本当かな、
 まあ参加してのお楽しみ。

・総会のご案内
 ○十月十八日(日)
 ○かしわホール於
 詳細は後日ご案内申し上
 げます。

以上、青年部の行事予
 定です。歴に印をどうぞ。

青年部OB会
 準備会開催される

六月十三日出「ぐるに
 え」於、OBになる部員
 十八名、現役員七名の出
 席にて、第一回目の準備
 懇親会が開催された。
 小見山前部長の進行に
 より、出席者の皆様から
 意見を聞く。

◎会を作るか否か
 ○横のつながりを続け
 る意味では賛成多数
 ○青年部の行動、行事
 に影響を及ぼさない
 程度の親睦会の様な
 会とするか。

○その他意見あり。
 約二時半位を費やし、研
 究をしましたが、決定的
 な事項は出来ず、二回、
 三回と準備会を重ね、よ
 りよいOB会の発足が出
 来ればと、云う事でした。

新年会及びボーリング大会

恒例の新年会兼ボー
 リング大会は一月十八日高
 田馬場シズンボールに
 於て六十二名の参加をも
 って開催されました。
 なお、結果は以下の通
 りです。

成績順位	
優勝 8 B	上野 勝夫様
二位 5 B	畑 春松様
三位 4 B	田辺恵美子様
四位 4 B	伊藤 哲夫様
五位 6 B	深野 恵一様
六位 1 B	中村 保信様
七位 3 B	尾沢 孝宣様
八位 5 B	小林 六郎様
九位 1 B	小林 正典様
十位 5 B	花岡 秋伸様
B・B	田中 順子様
H・G 8 B	上野 勝夫様

56年1月18日
 新年会ボーリング大会収支決算書

収入金	支出金
会費 63名×2,000 5名×1,500	トロフィーゲーム代・飲食代 157,500
133,500	靴 券 6,300
寄附金 47,000	景品代 37,300
部費より 37,000	サンドイッチ 9,000
	コーラ・つまみ 7,400
217,500	217,500

小林 正典

寄附者御芳名

小田嶋 茂様	田邊 満様	小見山 光様	石田 和様	喜井 龍美様	浅井 憲次様	荒井 友太郎様	会沢 孝宣様	尾沢 昭治様	清水 貞明様	東野 文芸様	河野 武男様	籠宮 正典様
--------	-------	--------	-------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

(順不同)



第8回 防火防犯パトロール
 打上げ収支決算書

収入の部	支出の部
会費 72×1000 72,000	レディーファースト 240,000
寄附金 131,000	80名×3,000
町会補助金 30,000	加丸屋酒店 54,955
部費より 61,955	(酒持込分)
合計 294,955	合計 294,955

編集後記

1 B

浅井 憲 龍

○今年の九月を過ぎると、青年部も満十才となる。現部長は、初代石川部長から数えて、四代目であり、町会長は、青年部生みの親である、高須様から井西様へ引き継がれている。

○十年は、三千六百五十余日だが、アッという間に過ぎてしまった。当時の小学生や中学生が、現在は有能な部員として活躍中なのだ。

○現役員の任期が、今期九月で満了となる。同時に、四十五才以上の現部員も、規定により勇退する。前の総会において決議されたものだ。

○現部員数 一四五名
勇退部員数 四二名

となる。部の活動には、大変なマイナスである。若返りと共に、初めて迎えた試練である。

この苦難も、若い力は必ずや、プラスへと転換してゆくであろう。

☆記念にと言っては大げさ過ぎるが、今号は、各部員の協力、参加が

一番多い真冬の町内パトロールから顔写真をのせた。ご自身の晴れ姿は、

いずこ！

○「じびき網」の作文を募集し、応募の作品すべてを掲載した。

おとなの記事に比べて何とハッキリと書かれていることか。

この欄をかりて、お礼

を申し上げます。有難度ございました。

☆さて、こゝからは、

私見だが、勇退する多くの部員は、どこへゆくか気にかゝるところだ。

☆四十六才で退部したとて、町会の集りには出にくくもあり、さりとて、六十才、入会の柏友会には、ちと間がありすぎる。

☆「青年部のOB会なるものをつくっては」の話は出ているのだが、考える程にまとまらないのが、実状らしい。

☆四、五十代の男は、世に弁解は禁物という。

うかつな行動は許されな

い。責任が重いのだ。

☆親(町会)や子供(青年部)への気づかいも大変なものである。

☆されば、一案だが、四十六才と五十九才迄の全町民へ呼びかけ、柏友会のような親睦の会をつくっては、如何？

☆もし、子供のお呼びがあれば、青年部を助け、親から声あらば、町の手伝いもする。

☆町には、壮年の力と知恵と経験が最も必要なのだ。親や子供の期待も大きいことであろう。

◎編集発行ご協力感謝。

発行 西新宿七丁目町会青年部
事務所 西新宿七ノ二二ノ三三田辺部長宅
編集 青年部 編集 部